

周南市庁舎建設検討市民委員会だより

H24.10.1

第1号

●庁舎建設検討市民委員会を開催し、市庁舎整備に関する議論を開始しました。

第1回委員会 平成24年7月24日(火) 18時～20時15分 於 周南市役所2階 第2応接室

【議事要旨】

- *委員長、副委員長を選出しました。
(委員長：熊野徳山高専教授、副委員長：目山徳山高専准教授)
- *検討の経緯及び検討の方向性等を確認しました。
- *検討の進め方について意見交換を行いました。



第2回委員会 平成24年9月3日(月) 18時～20時15分 於 周南市役所3階 防災対策室

【議事要旨】

- *前回会議の議事を確認しました。
- *市民が参画する形で庁舎整備の構想づくりを進める方法を議論しました。
- *はじめに、広く市民の意見を募るため、市広報に折り込む形でアンケートを行うことを決めました。(10月1日の広報に折込み配布する予定です。)
- *建替えか改修かについては、コストを踏まえた判断が必要との意見が出されました。次回の委員会で提示することを事務局が回答しました。
- *現状の老朽化の状況や問題点、災害時の課題などを踏まえると、庁舎整備は必要、との見解で一致しました。市民に対して丁寧に説明することが重要との認識で一致しました。



本庁舎及び周辺の現状

現状と課題

- ◎増改築を繰り返した経緯から、バリアフリーの実現が困難。
- ◎構造的に大空間が確保できない。
- ◎本庁機能が分散しており、市民利用の利便性に欠けるほか、職員の移動時間や経費もかかる。
- ◎建物と設備機器の老朽化により維持管理費が増大傾向にある。
- ◎耐震性が低いため、震度6程度の地震で建物が倒壊するおそれがある。

庁舎整備の必要性

- ◎老朽化への対応、災害対策拠点機能の確保、市民の利用しやすい庁舎などを実現するには、何らかの整備(建替え又は耐震リニューアル)が必要。